フラットディスプレイスタンド（KDS-PE70）取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
●この説明書は、製品の組立て方、使い方、使用上の注意事項について記載してあります。
●ご使用前に必ず、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
●また製品を末永くご使用いただくために、この説明書と工具備品は大切に保管してください。

組立をはじめる前に

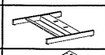
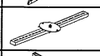
●組み立てる前に必ず、部品表と組立完成図をご覧になり、内容物をご確認ください。
●組立作業をする場合は、カーペットの上か、毛布などを敷いた所で床や製品を傷つけないようにご注意ください。

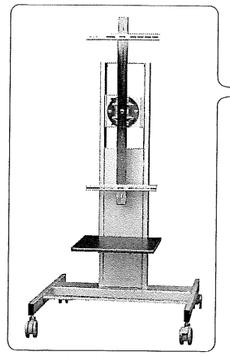
●安全上のご注意

安全にお使い頂くため、必ずお守りください。

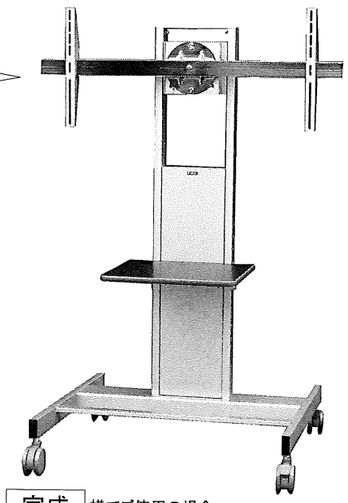
⚠警告
この表示欄は「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。

⚠警告
※組立方法はこの説明書に従って施工して下さい。
※組立は、必ず取扱店又は当社に依頼下さい。

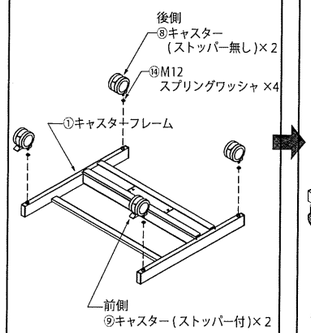
品番	品名	数量	外観図	用途	品番	品名	数量	外観図	用途
①	キャスターフレーム	1			⑪	六角穴付ボルト M8×20	4		棚板金具取付用
②	支柱フレーム	1			⑫	六角穴付ボルト M8×15	4		棚板取付用
③	ブラケット金具	1				M8 平ワッシャー	18		
④	アタッチメント	2				M8 スプリングワッシャー	18		
⑤	回転止めピン ＜装着済み＞	1			⑬	樹脂 スペーサー ＜TV取付ネジセットの袋に在中＞	4		
⑥	棚板金具	1組			⑭	M12スプリング ワッシャー	4		キャスター用
⑦	木製棚板	1枚			⑮	M8 用六角レンチ	1		
⑧	キャスター	2			⑯	工具 スパナ	1		
⑨	キャスター（ストッパー付）	2			⑰	ケーブル クランプ ＜TV取付ネジセットの袋に在中＞	3		
⑩	六角穴付ボルト M8×20	10		支柱組立用 支柱・ブラケット金具取付用		TV取付 ネジセット	1 袋		別紙の通り


縦でご使用の場合

［製品重量］　約　49.0 kg
［静耐荷重］　125.0 kg
＜トレイ耐荷重＞ 10.0 kg

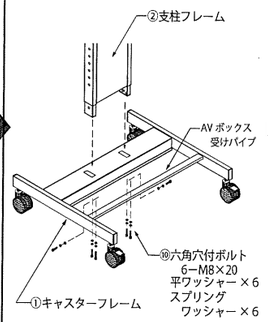

完成　横でご使用の場合

1 キャスターの取付



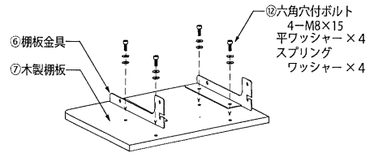
キャスターフレームのナットが見える部分を上にして（後）キャスター、（前）キャスター（ストッパー付き）を、スパナを用いてしっかりと締め付けてください。

2 キャスターフレームと支柱フレームの組立



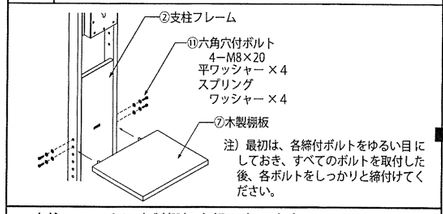
キャスターフレームに支柱フレーム（前後の向きを確認して下さい。）を差し込み、キャスターフレームの裏面より、六角穴付きボルトM８×２０、平ワッシャー・スプリングワッシャーで、６ヶ所を⑮六角レンチでしっかりと締め付けます。
ＫＩＣロゴマーク・ＡＶボックス受けパイプがある方が前面です。

3 木製棚板の組立（1）



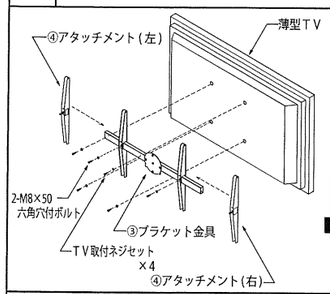
木製棚板に棚板金具（向きに注意）を取付します。
棚板裏側に六角穴付きボルトＭ８×１５、平ワッシャー・スプリングワッシャーで左右２ヶ所ずつ締め付けます。

4 木製棚板の組立（2）



支柱フレームに木製棚板を組み立てます。
お好みの高さを選び、六角穴付きボルトＭ８×２０、平ワッシャー・スプリングワッシャーで左右２ヶ所ずつ締め付けます。

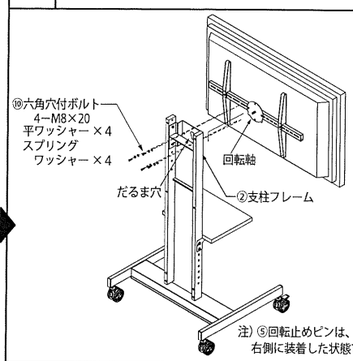
5 ブラケット金具とアタッチメント（ＴＶ）の取付



③ブラケット金具に④アタッチメント各１個（左右同形状）を上図の様に、左右から差し込み、ＴＶ取付ピッチに合わせ、六角穴付きボルトＭ８×５０で固定します。この時、アタッチメントの上下に注意してください。長穴が下側になる様にしてください。
また、ＴＶの中心にブラケット金具の中心がくる様にしてください。
アタッチメントをＴＶ取付用ネジセットよりＴＶ本体に設けられたネジ寸法に合ったものを選定の上、取付してください。但し、添付ビスで合わない機種があれば、お客様にてご用意して頂き、確実に締結してください。
ＴＶの機種によっては、ＴＶ背面とアタッチメントの間に⑬樹脂スペーサーが必要な場合があります。

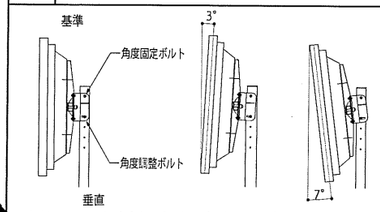
⚠警告 ●アタッチメントが、ＴＶにしっかりと締まっている事を確認してください。ＴＶが落下して怪我の原因になります。

6 支柱フレームとＴＶの取付



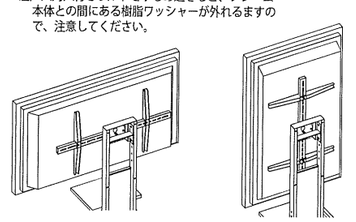
ＴＶ本体にブラケット金具とアタッチメントを上図の様に取付したものを、支柱フレームに取付します。
＜ＴＶを横型で使用の場合＞
ブラケット金具の回転軸を、支柱フレームのだるま穴に差し落し、支柱フレームの背面より六角穴付ボルトＭ８×２０、平ワッシャー・スプリングワッシャーで締め付けます。
この時、ＴＶが水平になる様にしてください。
＜ＴＶを縦型で使用の場合＞
ブラケット金具の回転軸を、支柱フレームのだるま穴に差し落し、次にＴＶを時計方向に回転させます。後は、上記と同じ方法で締め付けます。ＴＶを反時計方向に回転させる時は、支柱フレームの⑤回転止めピンを外し、逆側（左側）に替えて取付してください。

7 TVの角度調整・回転



支柱フレーム内側にある六角穴付きボルトＭ８×２０、平ワッシャー・スプリングワッシャーで、上図の様に角度を調整します。

注）六角穴付きボルトをゆるめ過ぎると、フレーム本体との間にある樹脂ワッシャーが外れるますので、注意してください。


ＴＶを横型でのご使用の場合　　ＴＶを縦型でのご使用の場合

ＴＶの回転方法については、前項６．ＴＶの取付を参照の上、操作してください。

⚠警告 ●ＴＶを回転させる時は、必ず２人以上で操作してください。ＴＶが落下して怪我の原因になります。

安全のために必ず守ること

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
⚠注意	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

●図記号の意味は次のとおりです。

⊘	絶対におこなわないでください。	❗	必ず指示に従って、おこなってください。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。

⚠警告

●お客様自身で商品の改造は絶対にしないでください。
→変形や破損、転倒などを引き起こす原因になります。 ⊘

●設置後、移動後は必ずキャスターのストッパーをロック位置にしてください。
→誤った設置や調整は、転倒してけがの原因になります。 ⊘

●フラットディスプレイの取付以外のご使用は絶対になさらないでください ⊘

⚠注意

設置するとき

●設置作業は必ず2人以上で行って下さい。
→重量物が落下して怪我の原因になります。 ❗

●床に傾斜や段差のある不安定な場所には設置しないでください。
→転倒してけがする恐れがあります。 ❗

●屋外での使用や水漏れを避けてください。
→さび・変色の原因となります。 ❗

●ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
→TVが落下してけがの原因になります。 ❗

使用するとき

●乱暴な扱いや用途以外の使用はしないでください。
→けがや故障、破損の原因になります。 ❗

●記載されている耐荷重以上は乗せないでください。
→商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります。 ❗

●商品の上に足を掛けたり、腰掛けたりしないでください。又、小さいお子様が近くで遊ばないよう注意してください →商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります。 ❗

●使用中にネジの緩みによるガタツキが生じた場合は締め直してください。締め直してもガタツキが直らない場合は使用を中止してください。→そのまま使用しますと、変形や転倒を起こす原因になります。 ❗

移動させるとき

●商品を移動させるときは、転倒防止のため2名以上で操作してください。
→1名は本体を操作、もう1名は安全確認をした後、移動させてください。 ❗

●移動する際に段差のある所や、ジュウタン等柔らかい所を通過する場合は十分にご注意ください。
→転倒してけがする恐れがあります。 ❗

アフターサービス

●この説明書には保証書が付属しています。保証期間はお買い上げ日より1年間を保証期間とさせていただきます。保証期間中の修理は以下の保証規定に基づいて修理させて頂きます。また保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料にて修理させて頂きます。

保証規定

1、保証期間内に取扱説明書にしたがった正常な状態で故障した場合には無料修理をさせて頂きます。
2、保証期間内に修理の必要が生じた場合には製品と保証書（取扱説明書）をご確認のうえ、販売店、または弊社修理窓口までご連絡ください。
3、保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
a)保証書にお買い上げ日の年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を故意に書き換えた場合。
b)火災、地震、水害、落雷、その他天変地異による故障及び損傷。
c)使用の誤り、乱用、改造等による故障及び損傷。
d)その他、弊社の責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷。
4、本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan

保証書

品　名	ディスプレイスタンド	型　式	KDS−PE70
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒　　−	
	ご連絡先	−　　−	
販売店	お買い上げ日	年　　月　　日	
	保証期間	お買い上げ日より1年間	
	店名・住所・電話番号		

●この製品を第三者に譲渡する場合は、この説明書も共に譲渡し、よく読んでから使用するようにご注意ください。

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お手入れの仕方

・通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。
汚れがついたときは　　倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。
ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。
サビや変色の原因になります。

裏面もよくお読みください。
組立て方などを記載しております。

株式会社ケイアイシー
KIC 〒160−0022東京都新宿区新宿1−28−3
TEL. 03−3357−7195
http://www.kic-corp.co.jp

取説No. 110221

MADE IN JAPAN